日本アフリカ相互理解促進交流プログラム「Japan-Africa Youth Program」

短期派遣プログラム参加者募集

日本アフリカ相互理解促進交流プログラム「Japan-Africa Youth Program」とは

日本とアフリカの次世代を担う若者が交流を通じて、相互理解を促進することを目的としています。日本とアフリカの共創の未来を形作る第一歩として、両地域の未来を担う若者が、地域や国境を越えた絆を築き、長期的な友好関係の基盤を構築することを目指します。

本事業は、2025年8月に開催されたTICAD9 を契機とし、日本政府（外務省）が推進する青少年交流事業です。アフリカ連合委員会（AUC）より委託を受け、一般財団法人日本国際協力センター（JICE）がプログラムの運営・実施を担っています。

短期派遣プログラムについて

本プログラムでは、将来の活躍が期待される日本の青少年を、アフリカ5か国（エジプト・エチオピア・ルワンダ・セネガル・ザンビア）のいずれか1か国へ12日間派遣します。参加者は、現地の若者との交流や、現地で活躍する日本企業・団体の訪問を通じて、派遣国の「今」や日本とのつながりを学び、相互理解を深めるとともに、日アフリカ関係への関心と理解を高めることを目的としています。

派遣国	日程	人数
エジプト	2026年8月30日～9月11日	15名
エチオピア	2026年9月5日～9月16日	15名
ルワンダ	2026年9月5日～9月16日	15名
セネガル	2026年9月19日～9月30日	15名
ザンビア	2026年9月19日～9月30日	15名

＜主な対象者＞

- 日本国籍を有し、派遣時に大学・大学院の正規課程に在籍している35歳未満の方
- アフリカに関心があり、現地で学びを得ながら理解を深めたい方
- 日本の文化や価値を、現地の人々に伝えたい方

詳細は募集要項をご確認ください。

応募締切　2026年6月11日（木）17:00

応募～帰国までの流れ

応募・選考	プレプログラム（オンライン実施）	1～9日目			10日目～帰国
書類選考 面接試験	派遣国について学ぶ	各種機関の訪問（大使館、JICA・JETRO事務所、日系企業等）	学校交流	ホームステイ	ワークショップ・報告会

FAQ

Q.1 費用は掛かりますか？

無料です。※自宅から空港までの交通費やパスポート発行手数料、予防接種にかかる費用などの諸経費は自己負担です。詳しくは募集要項をご確認ください。

Q.2どのくらいの語学力が必要ですか？

英語はTOEIC650点以上程度、フランス語はDELF A2以上もしくは仏検準二級以上（※セネガル派遣希望者のみ）の、十分な語学力が求められます。

Q.3 アフリカに行ったことが無くても大丈夫ですか？

はい、アフリカ渡航歴が無い方も歓迎します。プログラムを安心して実施するために、ワクチン接種や渡航リスクについてのご理解・ご協力をお願いします。

過去のJICE派遣プログラム参加者の声

“私にとって初めての海外体験でした。以前から途上国に行ってみたい気持ちがありましたが、JICEの引率で行けることに安心感がありました。

“私の人生にとって大きなマイルストーンです。文化や言葉が違う人々との共通点や相違点に気づくことは、国際交流の大事な部分です。

“現在勤める会社は、社員の約半分が外国籍です。国籍を気にせずにコミュニケーションをとれるようになったのは、派遣プログラム参加をきっかけに外国人と触れ合う機会が増えたおかげだと思っています。

お問い合せ先

一般財団法人 日本国際協力センター（JICE）
国際交流部 青少年交流課 Japan-Africa Youth Program 短期派遣担当

※本プログラムに関するお問い合わせは、右のQRコードからフォームにてご連絡ください。